

第5次行財政改革大綱策定方針(たたき台)

めざす姿「最低限のコストで最大限のニーズに応えうる、小さくて大きい市役所になっている」

01 職員が市民のニーズを理解している

(市民とのコミュニケーションが取れている)

(市民が求めるサービスが提供されている)

02 市役所の経営・業務運営が最適化されている

(職員がデジタルをうまく活用している)

(職員が地域の課題を自分ごと化している)

(アウトプットの質が向上している(働き方改革、人材育成・確保、リスクリリング))

(組織の新陳代謝が進んでいる)

(組織文化が変化している)

03 公共の担い手が多様化している

(地域の課題が多様な人たちに知られている)

(地域の課題解決を一緒に考える場が設けられている)

04 市民が納得する行政運営がなされている

(市民との対話が進んでいる)

(情報(将来予測等含む)が市民と共有されている)

(サービスデザイン思考の取組みができています)

05 適切なデジタル技術が活用されている

(デジタル技術を活用したサービスが提供されている)

(デジタル技術を活用するリテラシーが向上している)